

UAゼンセン Oさん

6/23～6/25 沖縄戦の戦没者を追悼する「慰霊の日」を含む3日間、平和行動in沖縄に参加させていただきました。

1日目は首里城公園散策と平和オキナワ集会に参加いたしました。

復興へ向けて、復元工事が行われている首里城の景色を見て、無事に工事が完了するよう願わずには居られませんでした。

平和オキナワ集会の講演では、米軍基地の騒音問題など、戦争が終わった今でも、沖縄が多くの問題を抱えている事を知りました。

2日目は戦跡コースCに参加し、糸数アブチラガマ、ひめゆりの塔、魂魄の塔、平和祈念公園を巡りました。

特にひめゆり平和祈念資料館が大変印象的に残っております。そこには犠牲となった生徒の顔写真と名前、更には性格や死亡理由が書かれている展示があり、女学生たちが確かにその時代を生き、ひめゆり学徒隊と過ごした証が残されており、胸が締め付けるような思いになりました。

平和行動では沖縄戦の事実を学び、大変貴重な経験が出来ました。この経験を伝えていくことで、私も今後の平和を祈念していきたいと改めて感じました。

自治労 Kさん

「2023平和行動in沖縄」に参加させていただきました。

初日は、現在復興中の首里城を見学し、その後平和オキナワ集会へと参加しました。

集会では「語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で恒久平和を実現しよう」というテーマのもと、全国から1,000名以上の参加があり、日米地位協定についての講演を聞き、平和式典が行われ、最後に次期開催県の広島県へとピースフラッグが引き継がれました。

二日目はピース・フィールドワークが行われ、糸数アブチラガマ、平和記念公園、ひめゆりの塔、魂魄の塔をピースガイドの方に案内いただきました。

特に印象に残っているのはアブチラガマで、案内を聞きながら暗闇の中を歩いていると、当時の悲惨な状況が目に見えようでした。また、そこで当時十代のひめゆり学徒隊の生徒たちが活動していたのかと思うと、とても心苦しくなりました。

参加をして、沖縄の現状と歴史について学ばせていただき、戦争の悲惨さと平和の尊さを改めて考え直す機会となりました。

UAゼンセン Kさん

今回平和行動in沖縄に参加させていただきました。

私たちのグループはピースフィールドワークでひめゆりの塔や平和祈念公園、糸数アブチラガマなどを巡りました。写真や資料は衝撃を受けるものが多く沖縄戦の悲惨さを痛感しました。

糸数アブチラガマは異様な雰囲気にもまれており、実際ここであった出来事を感じ恐怖心を抱きました。戦争の恐ろしさ悲惨さを語り継いでいかななくてはならない。絶対に繰り返してはいけないと強く感じました。

また、沖縄では今もなお数多くの問題が残されており、不安と隣り合わせの生活を送っているということを知りました。私たちの平和な日常は尊いものなのだ実感できた二日間であり、大変有意義な時間でした。ありがとうございました。

情報労連 Mさん

アブチラガマや平和記念公園等を訪問し、戦争直後の場所や写真を見たり体験することが出来て、改めて今不自由なく生活出来ていることが、とても平和だと感じました。

私たちの生活圏がもしも戦地となったら、一体どのような状態になるか、現地の状況から見ても想像できないくらいです。

日本近郊でもミサイルらしき物が頻繁に発射されたり、船や旅客飛行機を威嚇するような事件や出来事が起きていて、とても不安な状況です。

また、アメリカとある程度は良好な関係だと思っていましたが、まだまだ日本に不利なことが多く、日米地位協定の内容も報道などでは皆に伝わらないことが多くあることも知りました。

今回、自分の目や肌で直接見たり触れたり出来たことは、とても貴重な時間でした。

戦地となった沖縄の方々の悲惨な状態が、戦争を経験していなくても目に浮かぶ思いです。

戦争は絶対に起こって欲しくないし、防衛の意味での反撃もしてほしくないです。

勝った負けたよりも、対話等の武器を使わない形で解決したいです。（個人的な思い）

周囲に少しでも伝えられることは伝えていきます。

計画してくださった方やガイドで説明をして頂いた方に感謝します。